

Game Report

開催場所：福岡大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 29 日(日)

試合時間：9：00～

CC：峰 聡

U1：紀伊 孝哉

U2：石嶺 良方

福岡大学	○ 9 1	30	—1st—	17	● 8 6	東海大学九州
		12	—2nd—	15		
		17	—3rd—	18		
		11	—4th—	20		
		21	—O. T.—	16		

第 1 クォーター

福岡大 # 4 1 野口のゴール下のシュートが決まり、試合開始。序盤、福岡大は、果敢にゴールを狙い、出だしで流れを掴む。それに対し、東海大は、リング下のシュートを中心に追いかける展開が続く。中盤以降、福岡大 # 6 大関の 3 P シュートが決まり、流れは変わることなく福岡大。流れを止めたい東海大は、残り 2：48 にタイムアウトを請求。しかし、流れは止まらず、30-17 で福岡大のリードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

序盤、福岡大 # 4 1 野口が、シュートを決めると、東海大 # 2 8 脇山が連続得点で応戦する。中盤、東海大 # 5 荒牧の 3 P シュートが決まり、東海大に流れが傾いたように見えた。しかし、福岡大は粘り強いディフェンスで相手のミスを誘い、# 4 1 野口の連続得点により流れを渡さない。残り 2：24 東海大は、タイムアウトを請求。タイムアウト後、東海大は連続得点で点差を少し縮め、42-32 で福岡大のリードで第 2 クォーターを終える。

第 3 クォーター

前半からの流れを変えたい東海大は、# 5 荒牧の連続得点をきっかけに、得点を重ね、点差を縮める。対する福岡大 # 1 5 成崎の連続得点により、逆転を許さない。中盤以降は、両者の激しい攻防が続く。東海大 # 1 8 松岡のゴール下のシュートが決まった所で、残り 2：43 に福岡大は、タイムアウトを請求。その後、福岡大の激しいディフェンスからの連続得点で得点を伸ばし、59-50 で福岡大のリードで第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

序盤、福岡大は激しいディフェンスをやり続け、そこからの得点を重ねていき、流れは変わらず福岡大。中盤、両者攻防が続く中、東海大 # 2 8 脇山の 3 P シュート、# 5 荒牧のドライブからのレイアップシュートが連続で決まり、流れは東海大に傾き始める。流れを止めようと残り 1：52 福岡大は、タイムアウトを請求。しかし、東海大 # 0 岩崎の 3 P シュートが決まり、流れは完全に東海大へ。流れに乗ったまま東海大が追いつき、70-70 で試合は、オーバータイムへ。

O. T.

序盤、福岡大 # 3 2 片山のバスケットカウント、# 9 9 島崎の 3 P シュートが決まり、福岡大がリード。対する東海大は # 2 8 脇山の 3 P シュートで応戦するが、その後の得点には中々続かず、点差が縮まらない。その後、リードを保ち続けた福岡大が 91-86 で勝利した。